

## 4. 放射線の防護

### 事故が起こった時の心構えは？

放射性物質を扱う施設で事故が起こり、周囲への影響が心配される場合には、国や県、市町村などから「屋内退避」や「避難」などの指示が出されることがあります。

その際、うわさなどに惑わされず、落ち着いて行動することが大切です。また、事故後の状況に応じて、指示の内容も変わってくるので注意が必要です。

#### ○正確な情報を基に行動しましょう

- ・ 行政機関のホームページ、防災行政無線、広報車等からの情報などに注意しましょう。
- ・ テレビ、ラジオ、新聞等の情報に注意しましょう。
- ・ 私用電話等を控えましょう。
- ・ 近隣住民の安否、所在確認を行ってください。
- ・ 噂やデマに惑わされない。



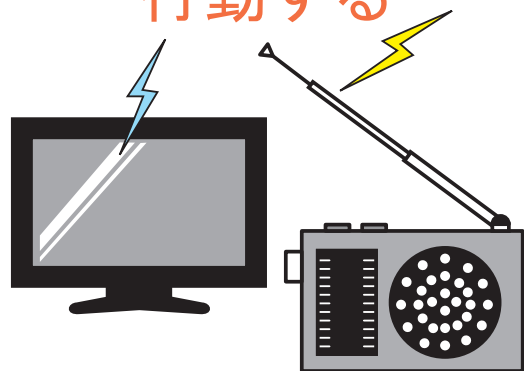
### 屋内退避や避難を行うときには？

国や県、市町村の指示に従い屋内退避や避難をしてください。

放射性物質の影響をできるだけ避けるため、屋内退避や避難をするときには次の点に注意して下さい。

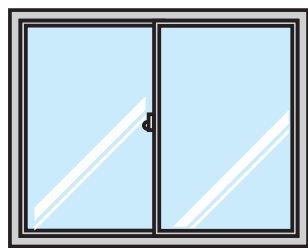
#### 退避・避難する時の注意点

##### 正確な 情報を基に 行動する

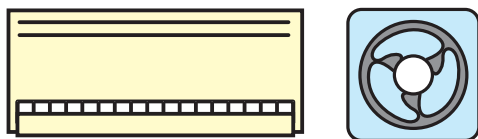


- 一斉放送、広報車、
  - ・ ラジオ、防災無線など

##### 退 避



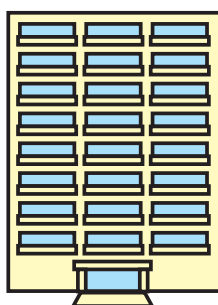
- ドアや窓を閉める



- エアコン(外からの空気を取り込むもの)や換気扇の使用を控える

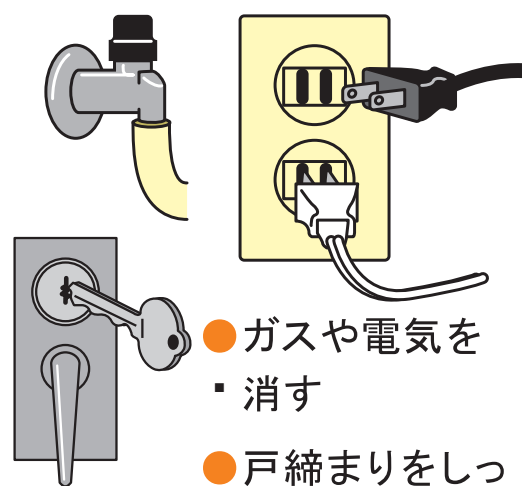


- 食器に蓋をしたりラップを掛けたりする



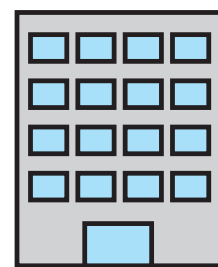
- 外から帰って来たら顔や手を洗う
- 木造家屋より放射線が通り抜けにくいコンクリートの建物への退避指示が行われることもある

##### 避 難



- ガスや電気を
  - ・ 消す
- 戸締まりをし
  - ・ かりする

- 隣近所にも知らせる



「退避」と「避難」は、どちらも放射性物質から身を守ることです。

- ・ 「退避」は家や指定された建物の中に入ること
- ・ 「避難」は家や指定された建物などからも離れて別の場所に移ること

